

2015年7月20日

## 海の日記念行事「海藻おしば教室」開催報告

海の森づくり推進協会

理事 納土 伸男

1. 日 時：2015年7月20日（月）午前11時～午後3時
  2. 場 所：東京海洋大学 2号館 309号室
  3. 開催者：東京海洋大学 海洋科学部 田中 次郎 教授 他 研究生×4名  
海の森づくり推進協会 納土 柳澤
  4. 教室開催の目的と配布資料
    - 4-1 一般市民には馴染みの少ない海藻（草）に関心を持ってもらうために、「海の日」記念行事の一環として東京海洋大学で開催された「海藻おしば教室」に、当協会は共催者として参加した。
    - 4-2 当協会の活動拠点の一つである秋田県の実産物や観光地を、首都圏在住者にPRする。
    - 4-3 当協会の賛助会員である日本農産工業(株)の、主力商品である「ヨード卵・光」の機能性について一般消費者に情報提供を行う。
    - 4-4 海藻おしばの制作を終えた参加者に下記の資料を配布した。
      - (1) 海の森づくりニュースレター（2014年010号）
      - (2) 秋田県東京事務所からの提供品
        - ・ハタハタポスター
        - ・秋田旬の地魚
        - ・秋田ハタハタ！！シール
        - ・秋田県「冬祭り・温泉」ガイド
        - ・あきた自慢こ十二か条
      - (3) 日本農産工業(株)からの提供品
        - ・NOSAN 健康のお話（冊子）
        - ・ヨード卵ひかりんキャラクターシール
        - ・ひかりんコンビセット（食器セット）
- 用意した資料 150 セットは、「海藻おしば教室」の終了 30 分前に全て無くなった。食器セットは子供の参加者には好評であった。



東京海洋大学正門



海藻押し教室の入り口



配布資料のセット

## 5. 用意した海藻の種類（合計 15 種類）

緑藻類	褐藻類	紅藻類
アナアオサ	アカモク	ホソバノトサカモドキ
ミル	イソモク	ムカデノリ
ボウアオノリ	ウミウチワ	トサカノリ
ナガアオサ		マクサ
フトジュズモ		ユカリ
ウスバミル		スギノリ

## 6. 押しばの制作

- 6-1 教室開催に当たって、研究生から海藻押しばの制作方法について説明が行われた。
- 6-2 作品を後日制作者の元へ郵送するために、作業を始める前に封筒と台紙に制作者の住所と名前を記入して貰う。
- 6-3 短冊形の台紙に海藻をピンセットや竹串でバットから掬い上げ、海藻の形や色などのデザインをしながら海藻押しばの制作を行う。
- 6-4 出来上がった作品は田中研究室へ持ち帰り完全に乾燥させた後、ラミネート加工を行い後日制作者宛に郵送される。



海藻押しば制作風景



乾燥中の作品の一部

## 7. まとめと今後の課題

- 7-1 教室への参加者は親子連れ（母親と子供）が多かったが、今回の参加者は合計 247 名であった。
- 7-2 関係者の負担は増えるが出来上がった作品を後日審査して、優秀作品については表彰をするようなことを考えてみると面白いかも知れない。
- 7-3 当協会の活動状況を紹介する資料が、会場入り口のポスターと協会発行のニュースレターだけでは質量共に不足している。以下のような資料を準備する必要がある。

- ・大型の「海の森」の水中写真パネル
- ・コンブ種糸を利用したコンブ養殖マニュアル
- ・コンブ種糸を利用したコンブ養殖の水中写真
- ・コンブ種糸の全国での使用状況
- ・壱岐や宇和島での「コンブ収穫祭」の写真
- ・海藻押しば制作テキスト
- ・海藻押しばの大型作品（20号程度）

以 上